

コード	205030301
記入日	H22.6.11

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江英生
担当者	本谷大輔

## 事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防車両及び機械器具管理事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9		
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1		
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	2		
事務事業コード	2050303	事務事業名称	消防備品管理事業費	細目コード	938		
関連計画				法令・条例規則等			

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1) 消防団関係車両		(対象指標1) 消防ポンプ車等 … 75台(H21.4.1現在)						
(対象2) 消防団関係機械		(対象指標2) 小型ポンプ等 … 65台(H21.4.1現在)						
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		・車両の維持管理台数 75台 ・機械の維持管理台数 65台 ・事業内訳 消耗品費 163千円 修繕料 4,165千円 燃料費 896千円 手数料 560千円 保険料 1,248千円 公課費 1,609千円 合計 8,641千円		① ***** 車両点検回数	75回	100%	車両点検回数75回÷車両点検予定回数75回	***** 平成21年度
				(達成率分析)	消防車両を整備・管理し、消防活動に使用できる体制を維持した。			
				② ***** 機械点検回数	65回	100%	機械点検回数65回÷機械点検予定回数65回	***** 平成21年度
				(達成率分析)	消防関係機械を整備・管理し、消防活動に使用できる体制を維持した。			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				① ***** 防火対応日数	365日	100%	防火対応日数365日÷年間日数365日	***** 平成21年度
消防関係の車両及び機械を最大限に活用し、町民の身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災及び地震等の災害を防除し、及びこれらの災害に因する被害を軽減するために維持管理を行うことを目的としている。				(達成率分析)	車両・機械の整備管理を行い、緊急事態に対応できた。			
				② *****			*****	*****
				(達成率分析)				

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	382	382	307	75	75					
	② 回	357	357	292	65	65					
成果指標	① 日	1,826	1,826	1,461	365	365					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	47,674	47,170	37,829	9,845	9,341					
直接事業費A	千円	44,174	43,670	35,029	9,145	8,641					
人件費B	千円	3,500	3,500	2,800	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.5	0.4	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	47,674	47,170	37,829	9,845	9,341					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 町民の身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災及び地震等の災害を防除し、及びこれらの災害に因する被害を軽減する活動を行っている消防団所有の車輛及び機械等の維持管理を行うために必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由 町民の身体及び財産を守ることは不変的なものであり必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由 消防関係の車輛及び機械を最大限に活用するためであり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由 車輛及び機械等の老朽化により、維持管理が困難になってきているが、修繕等により維持されている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由 老朽化している車輛及び機械の更新を行う必要がある。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由 緊急時の消防団活動に支障をきたす。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由 類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由 車輛及び機械等の老朽化による修繕ができなくなり、緊急時に支障をきたす。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由 消防団が所有する大規模数の車輛及び機械等を維持管理するためには削減することはできない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由 受益者負担はなし。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	老朽化している車輛及び機械の更新を行う必要がある。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
	課題に向けた改善策	計画的な更新を引き続き実施するとともに、既存の車輛や機械の点検の徹底や修繕等の実施で緊急時に支障が無いように努める。	
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	車両・機械器具は適正な維持管理に努め、老朽化したものは年次計画で更新を図り、消防防災活動に支障ないよう万全を期すこと。
効率性		計画的な維持・更新により経費の節減に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。